



いとう  
伊藤 おさむの市民ニュース

# ホット・ホット・越谷

発行責任者：高橋 正久

〒343-0838 越谷市蒲生三丁目七番七号

平成15年4月1日発行 No.5

TEL 048-985-4826 FAX 048-989-2397

E-mail osamuchan@ae.wakwak.com URL http://www.ae.wakwak.com/~osamuchan

## 投票に行こう！

## 私達の未来を

## 創るために！



越谷市議会議員選挙投票日

4月27日（日）

## 新しい風

越谷市議選が間近である。

今回、市議選の特徴としては、新人候補が十五名ぐらい立候補することだ。何しろ、現在の議会には二十歳代が一人もいないのである。五人の内訳は、二十代が三人（二十六才が二人）、三十代が伊藤さんともう一人。私は、この五人が全員当選してもらいたいと思つていて、それだけだ。何故なら、これまで述べてきたように、今回の統一地方選挙が問われていることは、「政治の閉塞感」を打破し、「希望の政治」を地方から創り出していくことにあるからだ。そのためには、必要なことは、世代交代こそがもとめられていることだ。もし、この若い人達が全員当選したら、議会における世代間のバランスもとれるし、議会の雰囲気も変わらぬ。何より、旧来の枠に納まらない、自己主張を持ち、個性的で、存在感のある人が多いよう見えるので、期待は大きい。

（正風）

注目し、未来を託す選択をすることはないだろうか。

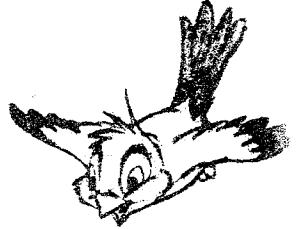
（正風）

（正風）

## 草加市長 木下博信氏からのメッセージ

### 頑張れ伊藤さん！

木下市長へ、おさむの突撃インタビュー！！



伊藤おさむさんが以前からともに活動していた木下市長を訪問して、これから的地方自治体について語っていました。

おさむ 市長になって1年半になると思いますが、どんな感想ですか？

市長 予想通り大変な職務ですが、そのぶんやりがいがあります。みんなで議論しながら少しづつ前進してきています。

おさむ 今、各地方自治体で「合併議論」が盛んで、先日も、吉川・松伏の協議会が出来ましたが、市長としてどんな考えを持っているのですか？

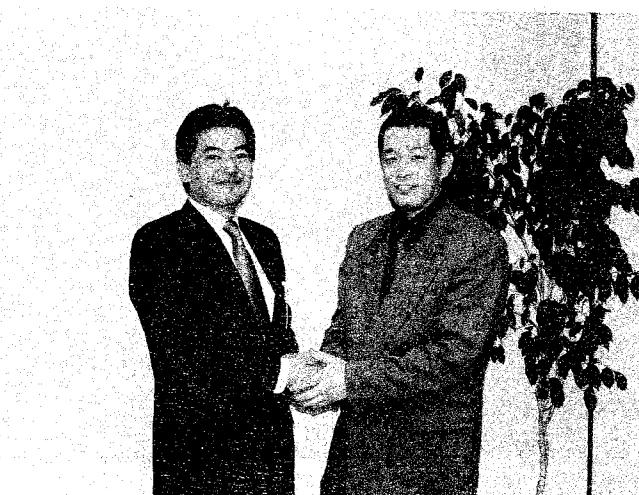
市長 先ず、基本は市民が決めることだと思います。草加・八潮とか5市1町とか、草加単独でとかいろいろな声がありますが、市民の皆さんのが冷静に判断できるよう、しっかりとした情報を提供していくことが大切です。



おさむ 合併推進の根本には、もっと方が自立してしっかりやりなさいという意味合いもあると思うのですが？

市長 国はそう考えているでしょうね。しかし、ただ合併するだけでは何も解決しません。役所のあり方、議会のあり方、市民のあり方、様々なものをしっかりと見つめ直していく、再構築していくことの方がより重要だと思います。

おさむ その通りです。市民と行政をもっと近づけて、新しい地方自治体を創っていきたいですね。ところで、公務で、日曜祭日もないと思いますが、プライベートな時間はどれのですか？おさむ 市長 共稼ぎ夫婦ですから、遅く帰ってもやるべきことをやっています（子供とお風呂に入ることや、オムツの洗濯等）。



おさむ また一緒に勉強会にも復活をしていただきたいのですが？

市長 なかなか時間がとれない状況ですが、何とかしたいですね。

おさむ ぜひよろしくお願ひします。

伊藤さんも思いの実現に向け忙しくなってきていると思いますが、地方自治体を良くするために頑張って下さい。期待しています！

# 伊藤おさむ後援会事務所開きを開催

伊藤おさむ後援会の事務所開きが、2月23日心配された雨も上がり、地元の人々を中心に、内外から多数の人々が参加し、盛大に開催されました。

会場には、紅白の幕が張られ、伊藤さんの好きな長渕剛のBGMが流れ、地元のコンパニオンズのお母さん達が、朝早くから煮込んだ「とん汁」の匂いが立ちこめる中、事務所開きのセレモニーが始まりました。

最初に、来賓の挨拶があり、浅古登（自由民主党越谷支部長）氏より、「自民党の若きホープとして期待しているので、是非、皆さん之力で議会に送りだして欲しい」と訴えました。続いて、松沢邦翁（越谷市議会議員）氏より、「目標に向かって頑張って下さい」と温かい激励の挨拶がありました。さらに、埼玉東部地域の市議会議員を中心としたグループ「地方政治改革ネット」のメンバーを代表して、村上香代子（三郷市議会議員）氏から、伊藤さんが、自民党の枠を超えて様々な人々との意見交換・交流をしながらひたむきに勉強する意欲、まっすぐで素直な人柄について話し、「伊藤おさむさんのような若くて、意欲があって、能力のある人こそ議会で活躍して欲しいと思うので、皆さんの力では是非、議会に送ってください」と訴えました。



そのほか、ネットの関係者で近隣の市・町から駆けつけ激励してくれた皆さんは、山下勝也（三郷市議会議員）氏・矢澤江美子（八潮市議会議員）氏・朝田和宏（八潮市議会議員）氏・鈴木順一（吉川市議会議員）氏・宮本貞子（庄和町議会議員）氏・加納好子（官代町議会議員）氏などいました。

それぞれ、伊藤さんの応援団として、出来る限りの協力を約束してくれました。メッセージも、木下博信（草加市長）氏、今井宏（自由民主党第3選挙区支部長）氏など多くが寄せられ、伊藤さんの人脈の広さと、期待が伺えました。

伊藤さんの決意表明では、「この町で生まれ育ち、学び、遊び、仕事をしています。この町を愛し、この町を少しでも住みやすい町にしていきたい。特に、お年寄りや子供達、体の不自由な人達が安心し、安全に暮らせるまちづくりをしていきたい」と力強く話しました。

お茶での乾杯の音頭は、地元の上村四郎氏とコンパニオンズの皆さんが行い、何としてもおさむ君を議会に送り出そうと杯を高くあげました。

しばらくは、後援会の資金集めバザーとして出された「とん汁」と「おにぎり」を食べながら、懇親を深めました。

最後に、桜井地区の高橋正久氏が、「今回の選挙は新人が15名もいる激戦、厳しい選挙が予想され、新人は人一倍の努力・行動力・集中力が求められます。伊藤さんは、これまで精力的に行動してきましたが、これからは、私達も一人一人がより広く確実な支持者の獲得に行動していく確認と決意を込めて閉会とします」と締めくくりました。



# 越谷市議会議員選挙

## 新人立候補予定者の公開討論会

2月8日（土）に越谷市北部市民会館で、越谷市民塾主催による、越谷市議会議員選挙新人立候補予定者の公開討論会が開催されました。12名ぐらいの立候補予定者がいると聞いていましたが、参加したのは、伊藤さんを含め、4名でした（他3名は、江原千恵子氏・菊地貴光氏・白川秀嗣氏）。最初に、それぞれ自分の政策について7分～8分間話しました。伊藤さんは、リーフレットに掲げている、高齢者や障害を持った人が、安心して暮らせるまちづくり、子供達の教育環境づくり、住みやすく親しみのあるまちづくりを、具体的で説得力のある話をしました。質疑では、市民自治・市民参加・議員の役割・行財政改革などでしたが、各人が多様な考えを話しました。

このような討論会はとても良いことで、より多くの市民が参加し立候補予定者の意見を聞き、議員を選んでいくことだと思います。

大沢在住 小林さん



伊藤 おさむの

～バリアフリー検証～



冷たい風が吹きすさぶ中、越谷市社会福祉協議会の主催による「第11回ボランティアフェスティバルこしがや」が、3月9日（日）にサンシティー広場で開催され、各団体による様々な模擬店やバザーなどが並び、多くの人々で賑わいました。今回、私が尋ねたのは、身体に重い障害を持つ「越谷市障害児・者とともに生きる会あすなろ」の人に話を聞くためでした。会の副会長さんに時間をとつてもらい立ちながらのインタビューとなりましたが、障害を持った子供を抱えている母親として障害児・者の自立化・社会参加をしていく運動の理解と支援について話を聞きました。重度の障害を持った子供は、義務教育を養護学校で過ごし、卒業すると就職はもちろんのこと、活動していく場がないということもあります、在宅介護となってしまう現実があるそうです。これらの、問題解決の一つとして協働施設をつくり、自分達の力で運営等を行っていく活動をしているようですが、地域住民の障害児・者に対する認識や、理解が十分でなく、実現にはまだ時間がかかると話してくれました。人一倍の苦労を背負いながら、同じような悩みを持つ仲間と手をつなぎ、越谷市で活動を続けている「あすなろ」のお母さん達が、元気に笑顔を絶やさず話してくれたのが印象的でした。

